



証券コード  
**5741**

# Aluminum lightens the world アルミでかなえる、軽やかな世界

2026年3月27日

株式会社UACJ

取締役 執行役員 財務本部長

岡田 浩三



# 登壇者プロフィール

取締役 執行役員 財務本部長

## 岡田 浩三

1967年生まれ。兵庫県出身、趣味はゴルフ

- ◆ 1992年入社以降、28年間営業を担当。色々な用途のアルミ素材を担当する中で、特にIT関係のアルミ筐体を受注する為にグローバルな営業活動を経験。
- ◆ 2020年に財務部長就任。積極的な戦略投資の実施と財務体質の強化を両輪で進め、企業価値向上に注力。
- ◆ 2025年6月開催の第12回定時株主総会において取締役に就任。



- 1. UACJの概要**  
～どんな会社か。また、事業領域や規模はどのくらいか
- 2. アルミニウムとは**  
～アルミニウムの持つ特性と、どこで使われているか
- 3. UACJの成長戦略**  
～長期ビジョンと第4次中期経営計画について
- 4. 業績と株主還元**  
～財務目標(第4次中計と今期)と還元の考え方

# 1. UACJの概要



*Aluminum lightens the world*  
アルミでかなえる、軽やかな世界

2013年10月

## 古河スカイと住友軽金属工業の経営統合で誕生した 世界トップクラスのアルミ圧延会社

社名	株式会社UACJ
創業	1898年(大阪・住友伸銅場でアルミニウム圧延事業開始)
事業内容	アルミニウム等の非鉄金属及びその合金の圧延製品・鋳物製品・鍛造製品並びに加工品の製造・販売等
売上高	9,988億円(2024年度実績)
従業員数	連結10,203名(2025年3月31日時点)
主要な製造拠点	(国内)名古屋、福井、深谷、小山 (米国)ケンタッキー州、ミシガン州 (タイ)ラヨン県

# UACJの沿革

1890 1900 1910 1920 1930 1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010

日本のアルミ圧延業を  
リードしてきた会社の  
経営統合により誕生

## 古河電気工業アルミニウム事業

1910

アルミニウム電線の  
研究を開始

1933

日光製造所  
が完成

1942

鑄鍛製作所  
が完成

1961

小山製作所  
が完成

1983

福井製造所  
が完成

## スカイアルミニウム

1964

スカイアルミニウム(株)  
を設立

1967

深谷製造所が完成

## 古河スカイ

2003

古河スカイ(株)設立  
古河電気工業(株)と  
スカイアルミニウム(株)の  
アルミニウム事業を統合)

2012

北米アルミ圧延事業を  
古河スカイと、  
住友軽金属工業など  
が共同で買収、  
**TAA**※1(米国)を設立

## UACJ

2013

古河スカイ(株)と  
住友軽金属工業(株)の  
経営統合により、  
UACJ(株)が誕生

2014

**UATH**※2(タイ)操業開始

## 住友軽金属工業

1898

大阪市の  
「住友伸銅所」で  
アルミニウム圧延事業  
を開始

1935

住友金属工業(株)  
を設立

1941

名古屋製造所が完成

1959

住友軽金属工業(株)設立  
(住友金属工業(株)から分離)

# スタジアムで見つかるUACJ

## 東京ヤクルトスワローズ(野球)

- 2015年からオフィシャルスポンサーとして、ホーム球場の「明治神宮野球場」のバックネット裏に看板を掲出、
- 2024年からはトップスポンサーとして、ホームユニホーム右袖に企業ロゴ掲出
- 明治神宮球場でのヤクルト冠協賛試合の開催や、選手・OBによる野球教室を開催

### 【明治神宮野球場バックネット裏の看板とユニフォームのロゴ】



### 【冠協賛試合】



### 【野球教室】



福井県坂井市で開催した  
野球教室の様子



埼玉県深谷市で開催した  
野球教室の様子

## 宇都宮ブルックス(バスケットボール)

- 2019年からオフィシャルサポーターとしてホームゲーム会場にロゴ掲出
- 2023年から宇都宮ブルックスのSDGsプロジェクト「BREX with」に協賛
- 宇都宮ブルックスとバスケットボールクリニックを開催



## 三菱重工相模原ダイナボアーズ(ラグビー)

- 2023年からトップスポンサーであるプラチナパートナーとして、企業ロゴをユニホーム(鎖骨部右)と、看板をホームゲームゴール裏にを掲出
- 選手による従業員向けトークショーや、ラグビー教室を開催



## 車いすテニス

- 2023年からオフィシャルサポーターとして社会におけるDE&I推進に貢献
- 日本車いすテニス協会と体験会を実施
- 車いすテニス協会にアルミ製フライトケースを寄贈



# UACJグループが目指す“軽やかな世界”

## UACJグループ理念



**企業理念** 素材の力を引き出す技術で、持続可能な社会の実現に貢献する。

**目指す姿** アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。

**価値観** 相互の理解と尊重  
誠実さと未来志向  
好奇心と挑戦心

## コーポレートスローガン

*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界

私たちUACJグループは、高品質なアルミニウムの供給を通じて、人びとの暮らしの向上や持続可能な社会の実現に貢献していきます。

# アルミニウムの製造とUACJの事業領域

高度な鋳造・加工技術が強みに、お客様の多様なニーズに対応



**UACJ** の事業領域

5つの事業が連携し、幅広い産業分野へ最適なアルミ製品を供給



# UACJ事業別 売上収益



航空宇宙・防衛材事業



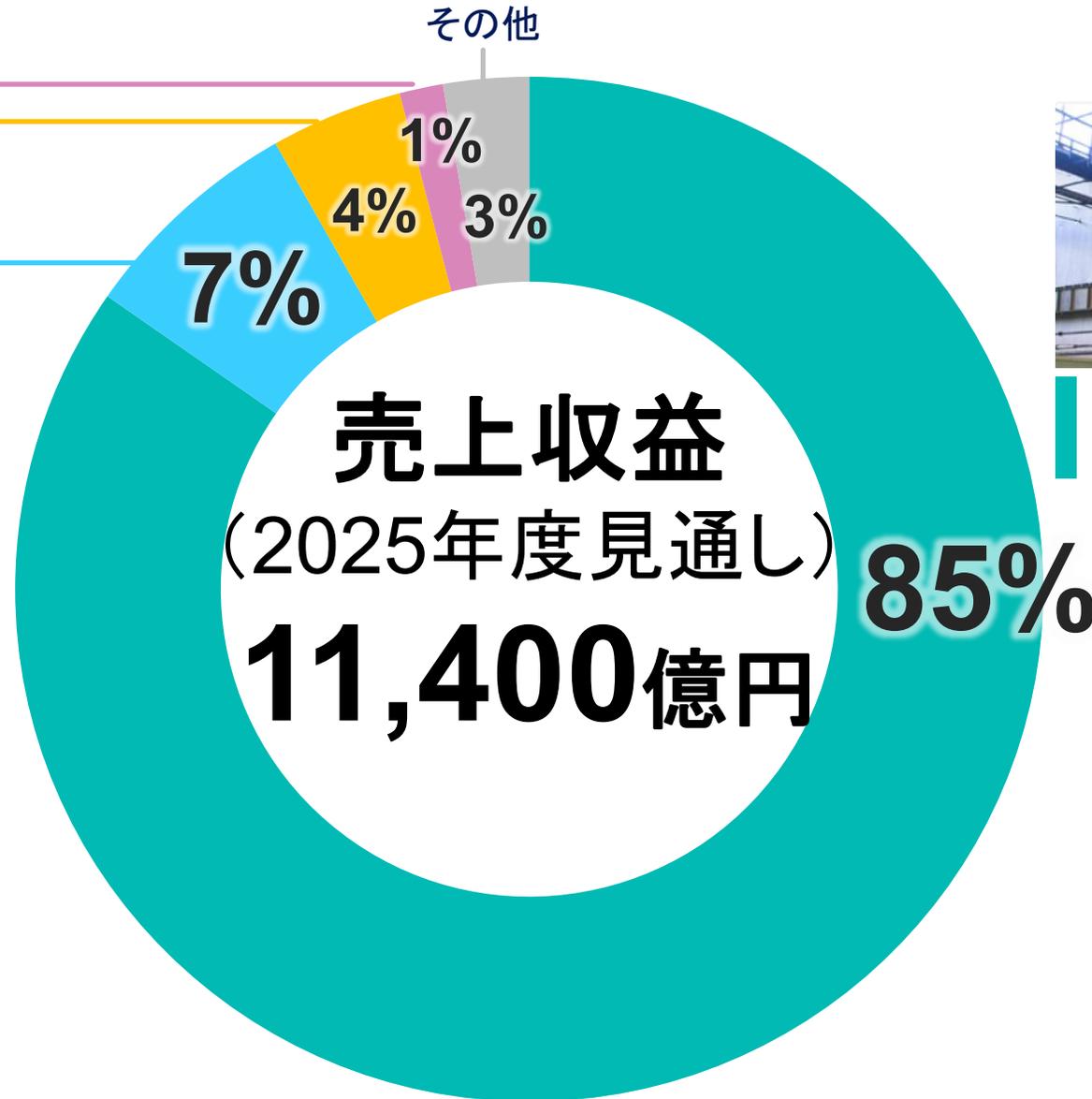
自動車部品事業



押出・加工品事業



板事業・箔事業



# 板事業 品種別販売数量

その他 14%

建材、家電向けなど

IT材 1%

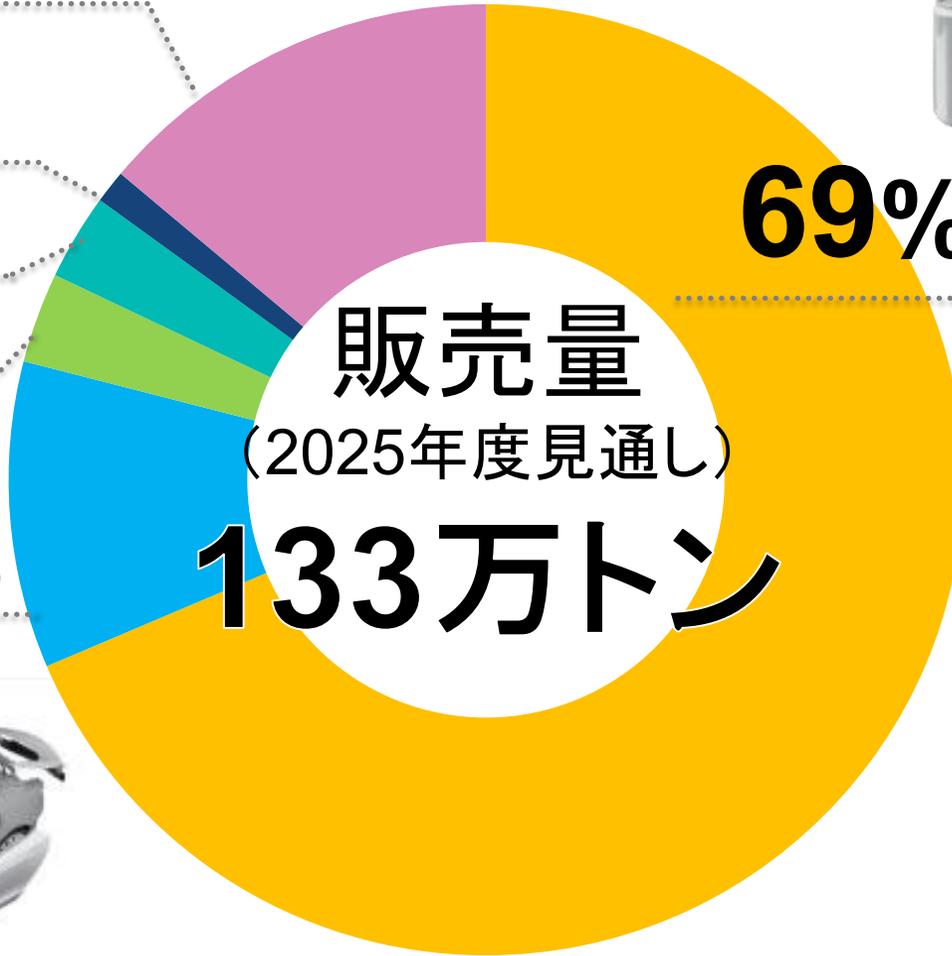
厚板 3%

半導体製造装置向けなど

箔 3%

リチウムイオン電池 集電体、  
コンデンサーなど

自動車材 10%



販売量  
(2025年度見通し)

133万トン



69% 缶材

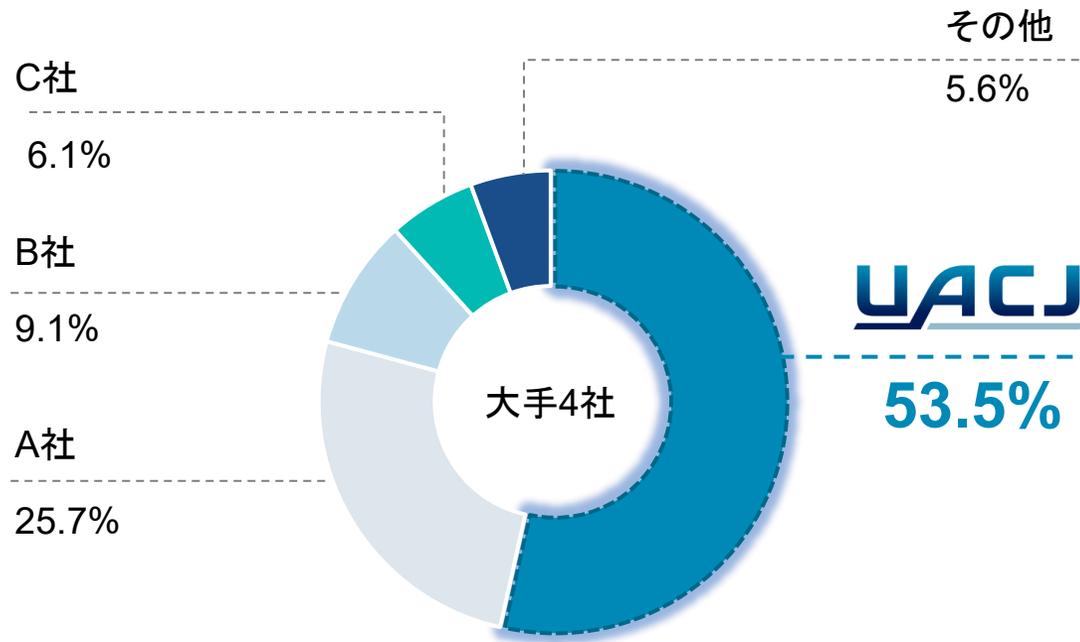


# 国内における圧倒的なマーケットシェアと、世界トップクラスの販売量

## 国内におけるマーケットシェア

FY24時点

アルミニウム圧延品国内生産量比率(%)

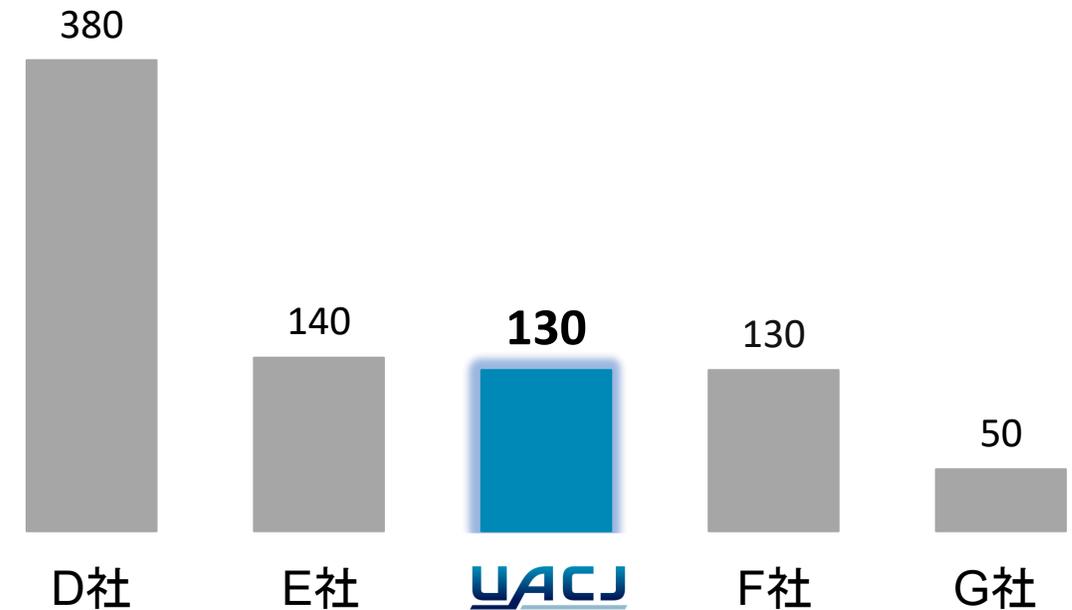


アルミニウム圧延品市場で約5割のシェア。  
国内における圧倒的なマーケットシェアを有しています

## グローバルにおける販売量ランキング

FY24時点

アルミニウムシート・板材グローバル販売量(万トン)



販売量は年間約130万トンに達し  
世界トップクラス的能力を有しています

# 世界3極での生産・販売体制

世界3極での生産体制を基盤に、グローバルなエリア戦略を展開



**日本**：強固な顧客基盤、  
事業間の連携による  
多彩な加工力

生産能力：  
約 **65万トン/年**



名古屋製造所



福井製造所



深谷製造所



**TAA**：旺盛な北米需要を獲得

生産能力：約 **45万トン/年**



**UATH**：東南アジア地域の基幹工場

同地域における唯一のアルミニウム圧延の一貫工場

生産能力：約 **34万トン/年**



グローバル生産能力 約 **150万トン** (2027年度目標)

# UACJの拠点ごとの品種構成

## 各地のニーズに合わせた能力を生かす生産体制を構築



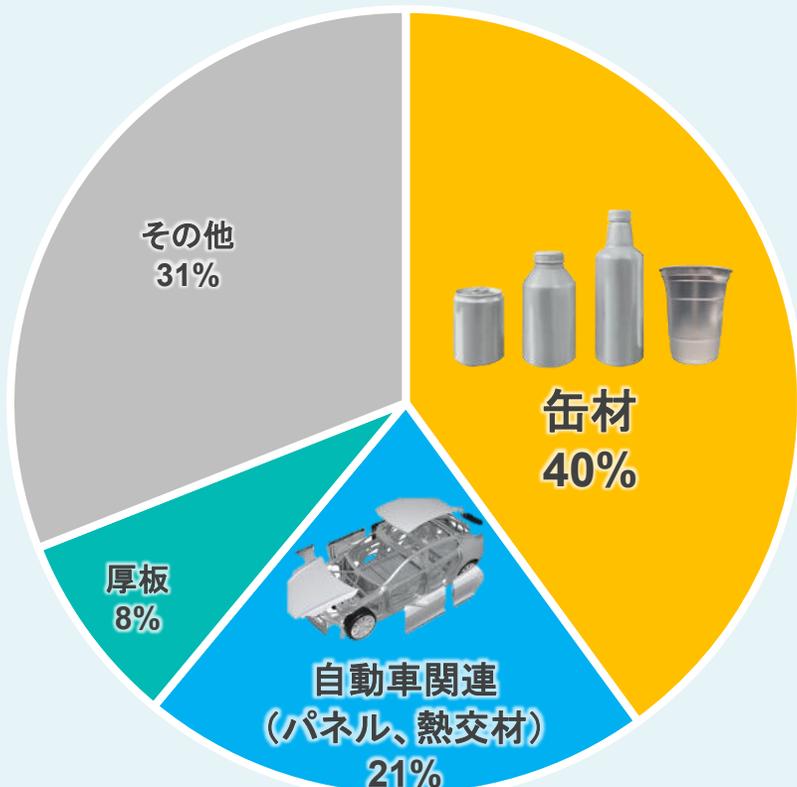
### 日本

生産能力: 約 65万トン/年

名古屋製造所: 約30万t/年

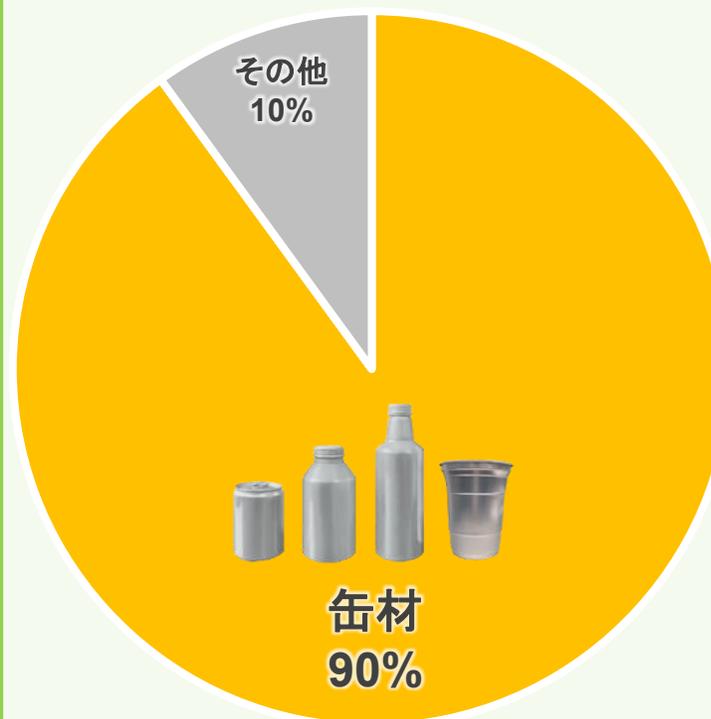
福井製造所: 約30万t/年

深谷製造所: 約5万t/年



### TAA

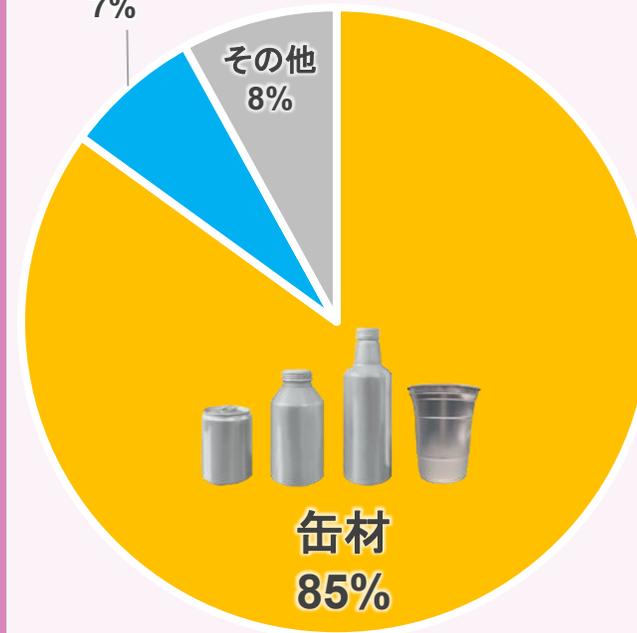
生産能力: 約 45万トン/年



### UATH

生産能力: 約 34万トン/年

自動車関連 (熱交材) 7%



## 2. アルミニウムとは



*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界

# アルミニウムの豊富な特性



低温に  
強い

電気を  
よく通す

光や熱を  
反射する

サビない

真空特性  
が良い

熱をよく  
伝える

毒性が  
無い

軽い

溶かし  
やすい

強い

接合し  
やすい

リサイクル性  
に優れる

美しい

磁石に  
つかない

加工  
しやすい



# アルミは生活のすぐそばで活躍する素材

リサイクル性  
に優れる

## 飲料缶分野

毒性が  
無い

## 医薬品・食品分野



## IT分野

軽い 強い

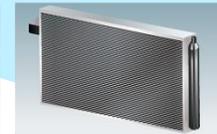
## 航空宇宙・防衛分野、 インフラ分野



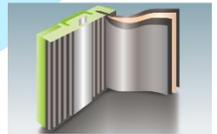
ボディパネル材



構造部材



熱交換器材



バッテリーモジュール材



軽い 強い

熱を  
良く通す

## 自動車分野

# アルミニウム需要の変化



1890年代

日本で初めてアルミが  
食器類（弁当箱、飯ごうなど）へ採用



1971年

アルミ缶のビールが誕生



1990年

高性能スポーツカーに  
アルミニウムが採用  
（オールアルミ）



2007年

アルミを使用した  
パソコンが発売



2021年～現在  
環境意識の高まりを背景に  
アルミ缶等がさらに拡大

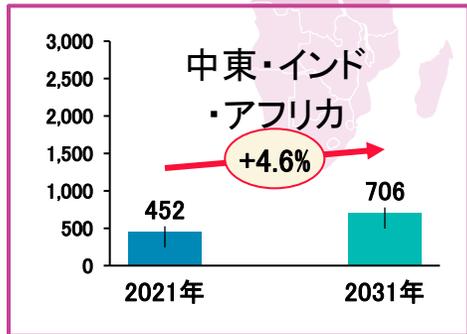
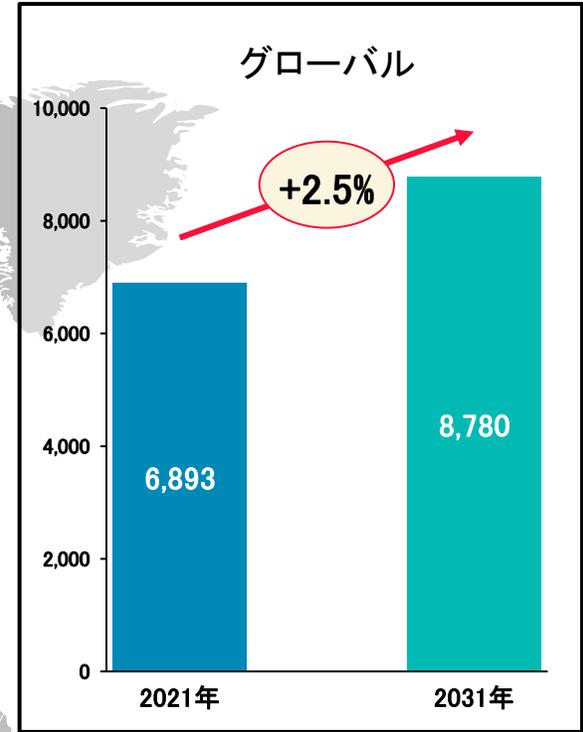
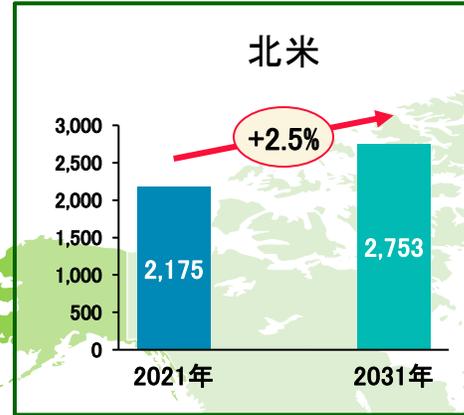
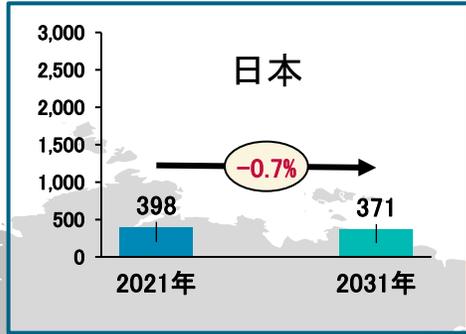
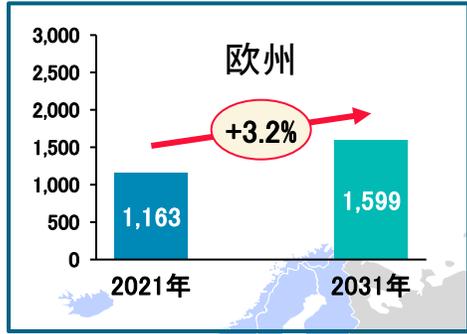


※画像イメージとなります

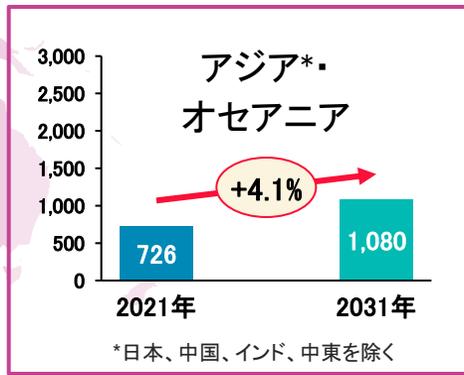
© UACJ Corporation. All rights reserved.

# 缶材の地域ごとの需要見通しに対するUACJの供給体制

(単位:千トン)  
伸び率はCAGR

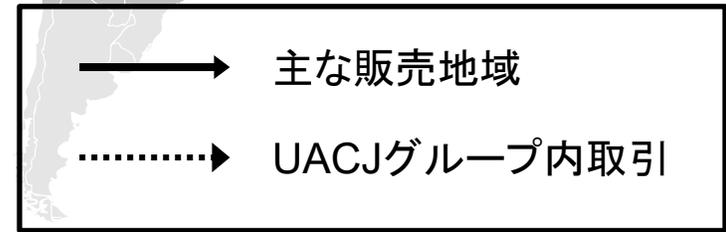


UATH



UACJ  
福井・名古屋

TAA



# 注目の特性、“リサイクル特性”



リサイクル性に優れる

- 🔥 アルミニウムは、**新地金の製造で多くのGHG\***を排出
- 🔥 リサイクル材を活用することで、GHG排出量は**新地金製造の3%に低減**

すでに精錬されたアルミニウムのリサイクルを続けることで、  
アルミ産業全体のGHG排出量を低減させることが可能になる

新地金製造時のGHG排出量



リサイクル材活用時のGHG排出量



出所: 日本アルミニウム協会

# 3. UACJの成長戦略



*Aluminum lightens the world*  
アルミでかなえる、軽やかな世界

3-1.

# アルミニウム市場の拡大と UACJの成長



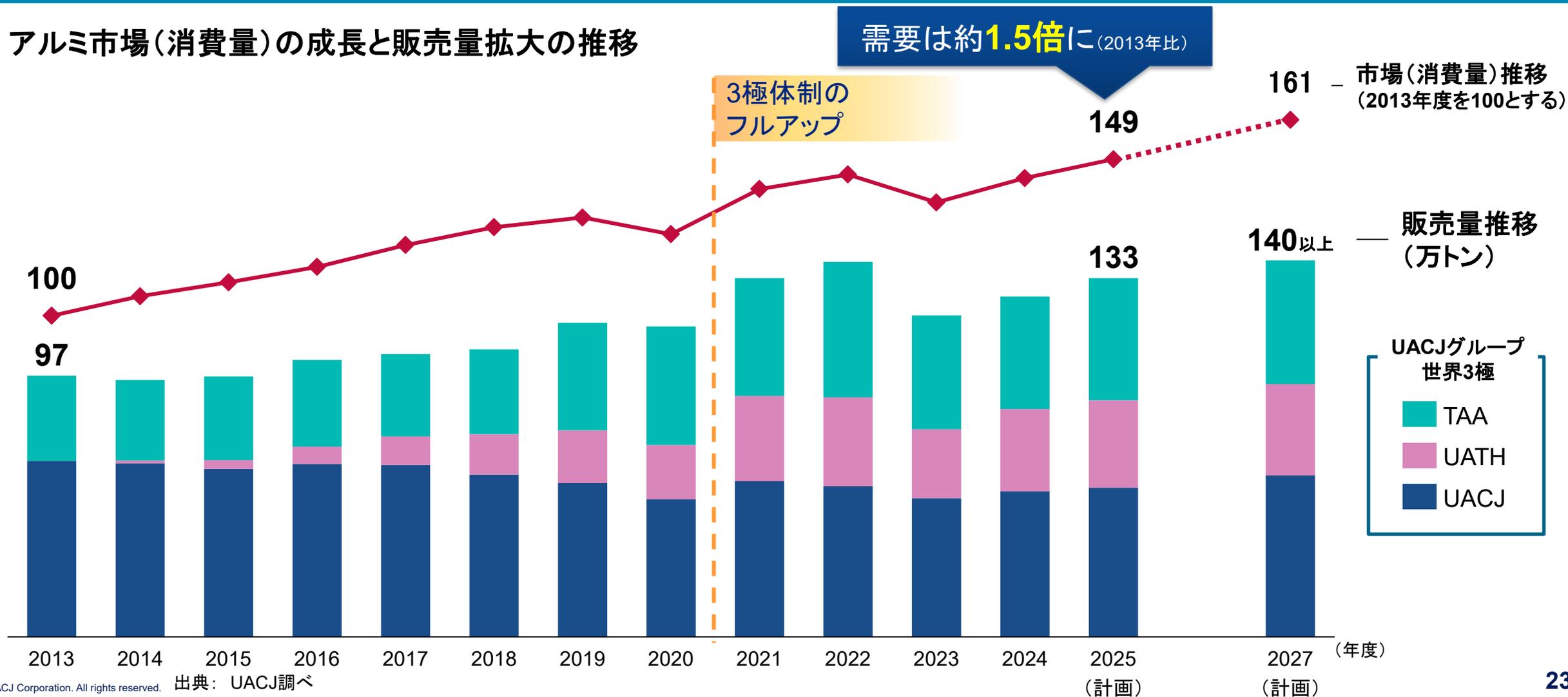
*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界

# UACJの販売量拡大

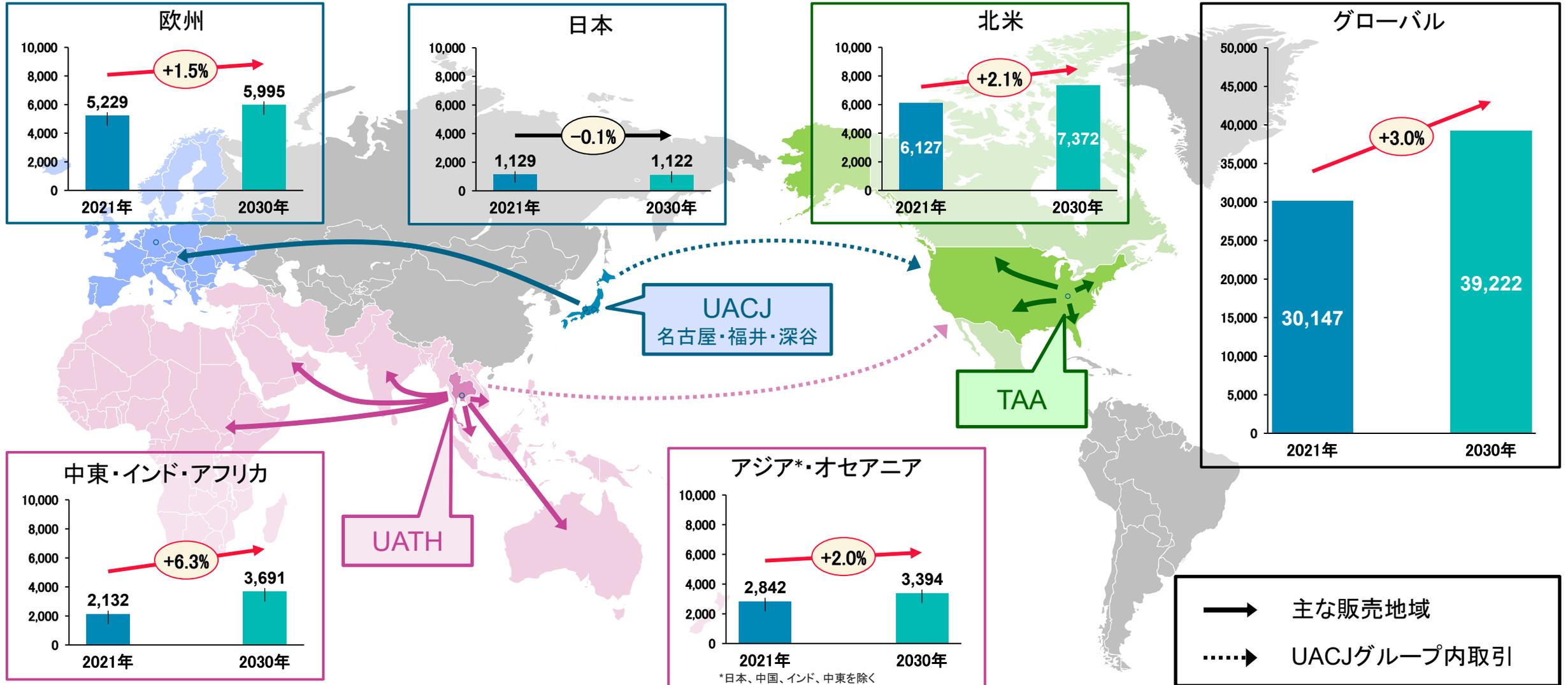
## 世界3極体制を構築し、拡大するアルミニウム需要を捕捉

アルミ市場(消費量)の成長と販売量拡大の推移



# アルミ圧延材の地域ごとの需要見通しに対するUACJの供給体制

(単位:千トン)  
伸び率はCAGR



# 戦略的投資による企業価値向上

2013～2023年度

統合後10年間の成長投資

総額2,000億円規模

グローバル化を進め、量・シェアを獲得

【1,500億円】 UATH/TAA

グローバルな缶材需要の伸びを中心とした投資

【200億円】 日本

自動車軽量化の時流に合わせたボディパネルの投資

2024～2027年度

第4次中計期間中の投資

総額800億円規模

成長率の高い分野に優先的に投資

【220億円】 リサイクル ※UATH/TAA/日本の缶材リサイクル

【150億円】 自動車

【100億円】 航空宇宙・防衛

【100億円】 缶材

2028～2030年度

第5次中計期間中の投資

投資規模検討中

2030年以降の継続的な成長に向けて  
投資内容・規模を策定中

投資のアウトカム

2023年度

事業利益： 434億円

2027年度(予)

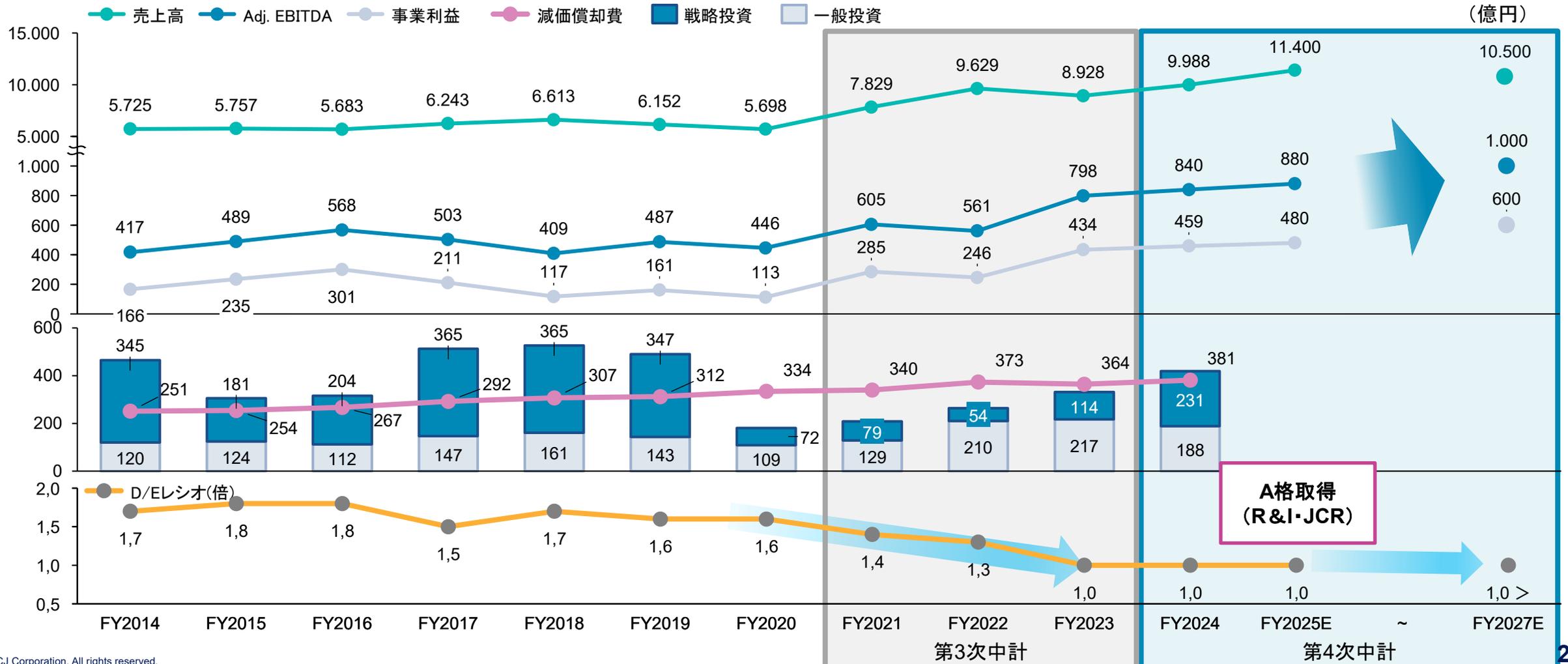
事業利益： 600億円

2030年度へ向けたさらなる  
利益・キャッシュ創出

事業利益： 600億円+α

# 統合からの財務指標推移

成長投資による利益・キャッシュ創出拡大および財務体質改善の両面を進め、  
今年度(FY25)に発行体格付A格を取得(R&I社・JCR社)



3-2.

# 第4次中期経営計画 【2024年度～2027年度】



*Aluminum lightens the world*  
アルミでかなえる、軽やかな世界

# 長期経営ビジョン“UACJ VISION 2030”と第4次中期経営計画

## アルミニウムを究めて、サステナブルな社会の実現に貢献



# UACJを取り巻く環境の変化

変わりゆく世界



アルミニウムを取り巻く市場環境

# 2030年に向けた事業利益の目標(第4次中期経営計画の位置づけ)

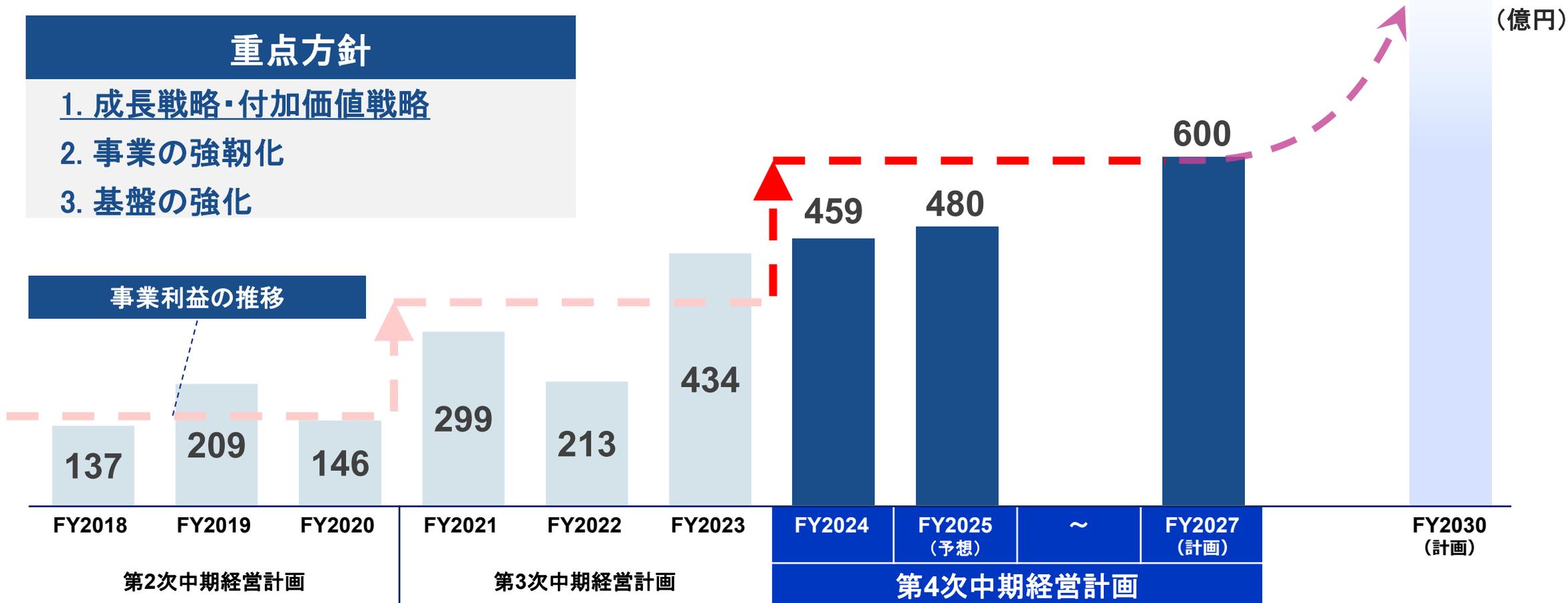
## 第4次中期経営計画

「素材+α」の付加価値提供企業へ  
～稼ぐ、繋ぐ、軽やかに～

UACJ VISION 2030

### 重点方針

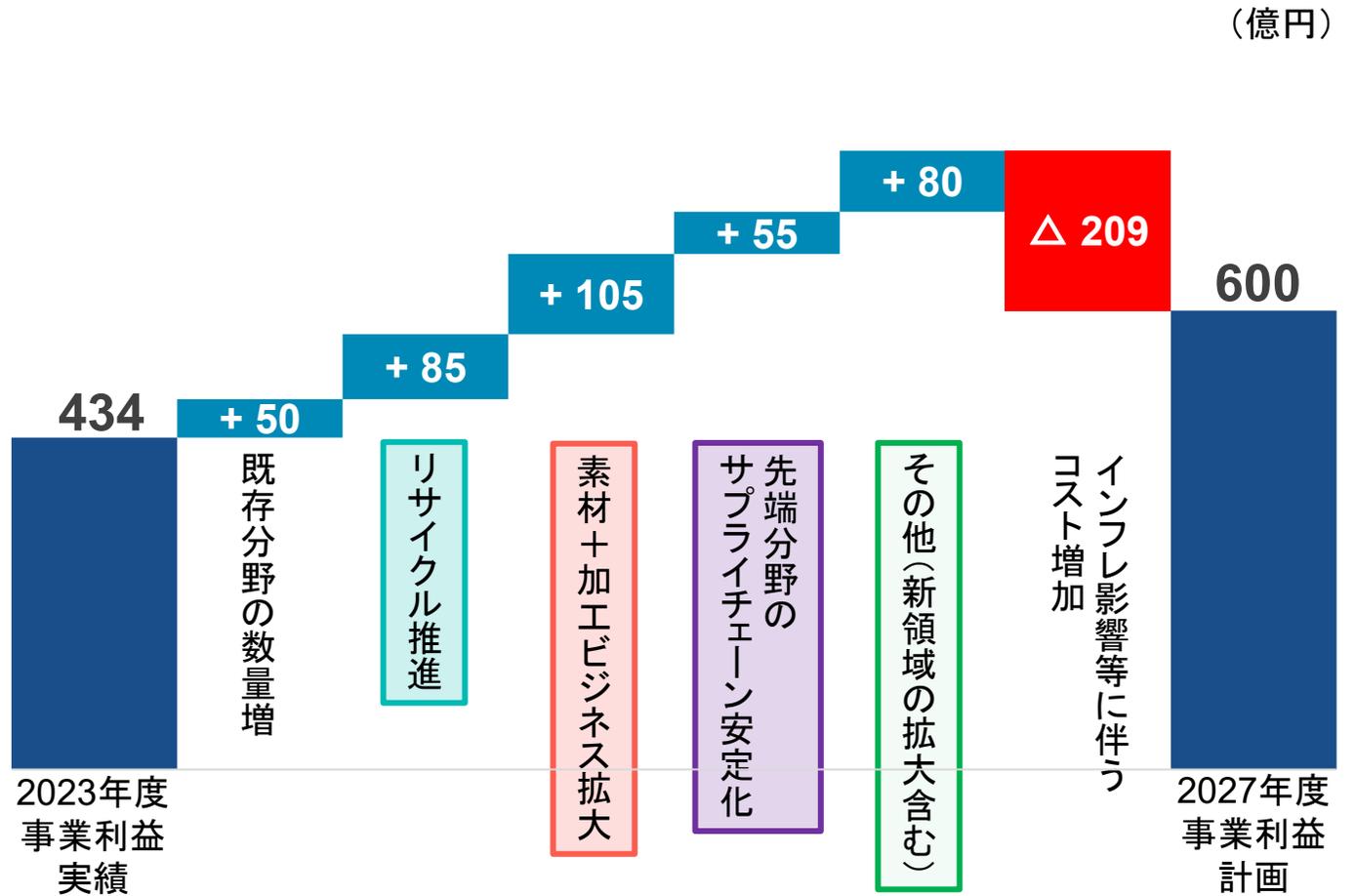
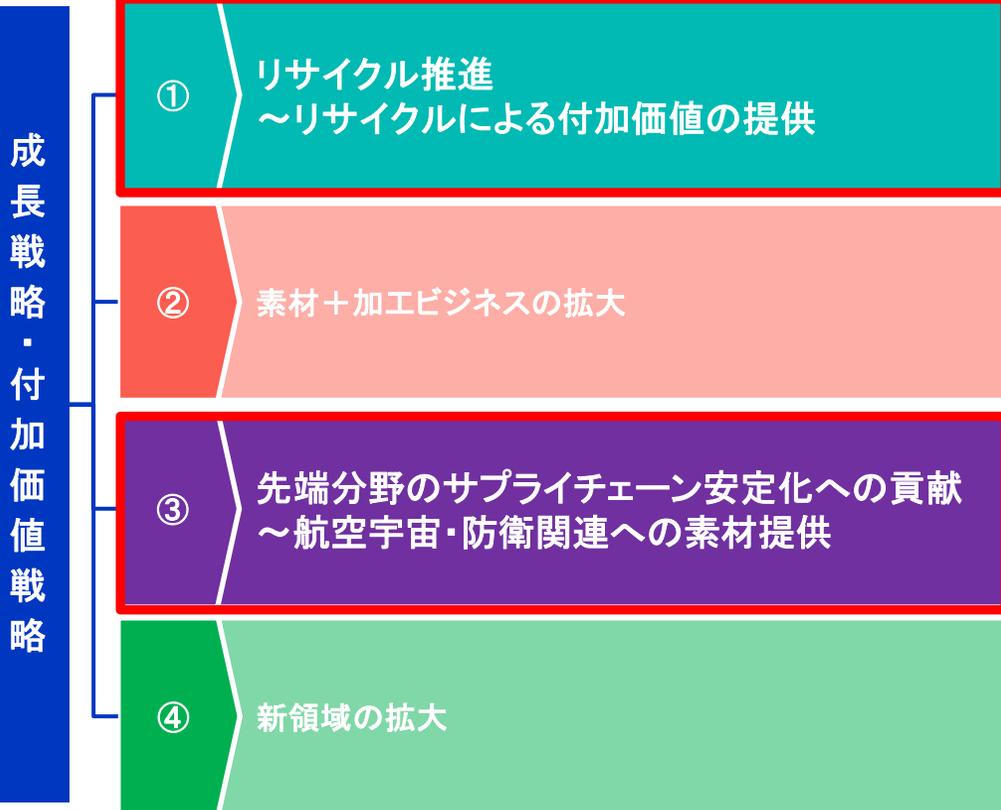
1. 成長戦略・付加価値戦略
2. 事業の強靱化
3. 基盤の強化



# 第4次中期経営計画【2024～2027年度】 実施する取り組み

## 素材提供企業から、「素材+α」の付加価値提供企業へ

### 4次中計における“+α”の分野



3-3.

## リサイクルによる付加価値の提供



*Aluminum lightens the world*  
アルミでかなえる、軽やかな世界

# UACJのリサイクルへの取り組み

## カーボンニュートラル挑戦宣言

【Scope1, 2】 (2022年11月公表)

2030年度目標 30%削減\*1

2050年 カーボンニュートラルへ挑戦

【Scope3】 (2023年12月公表)

2030年度目標 30%削減\*2

2050年 CO<sub>2</sub>等のGHG\*3排出削減活動を行い、  
GHG排出最小化を目指す

\*1 2019年度比・原単位

\*2 2019年度比・原単位、Category1

\*3 温室効果ガス。Greenhouse gasの略

UACJリサイクル率\*4 達成目標設定 (2023年12月公表)

2030年度目標値 **80%**

(2019年度実績値65%)

\*4 UACJリサイクル率定義

- ・純アルミ(1000系、8000系)材を除く。
- ・対象拠点は国内4製造所、タイ拠点
- ・循環アルミ量/溶解炉への装入量×100
- ・循環アルミ量... 製造業での素材の加工段階で発生するスクラップ+使用済み製品に由来するスクラップ+当社社内の全工程で発生するスクラップ
- ・溶解炉への装入量... 循環アルミ量+アルミニウム新地金+添加金属

UACJは、リサイクルを推進することによって

- 1) アルミリサイクル原料の最大活用により低炭素化を推進
- 2) 資源の循環により、地球環境の保全に貢献

# 成長戦略・付加価値戦略の進捗 -リサイクルの推進

アルミニウム循環の「心臓」として、リサイクル推進に向け積極的な施策を実施

新地金  
大幅削減

再生アルミ  
大幅増加

- ・リサイクル率向上
- ・アルミニウム用途拡大

65%

FY19  
(BM)

73.9%

FY24  
実績

80%

FY30  
目標

「UACJリサイクル率」目標の推移

※純アルミ(1000系、8000系)材を除く  
※対象拠点: 国内4拠点(板:名古屋、福井、深谷、押出:小山)、UATH

ボーキサイト

新地金

動脈側

静脈側

CAR

CAN

PCR

使用済製品に由来するスクラップ  
(回収の新サプライチェーン構築と処理技術の確立)

PIR  
素材の加工段階で発生するスクラップ  
(お客様との関係強化でスキーム構築)

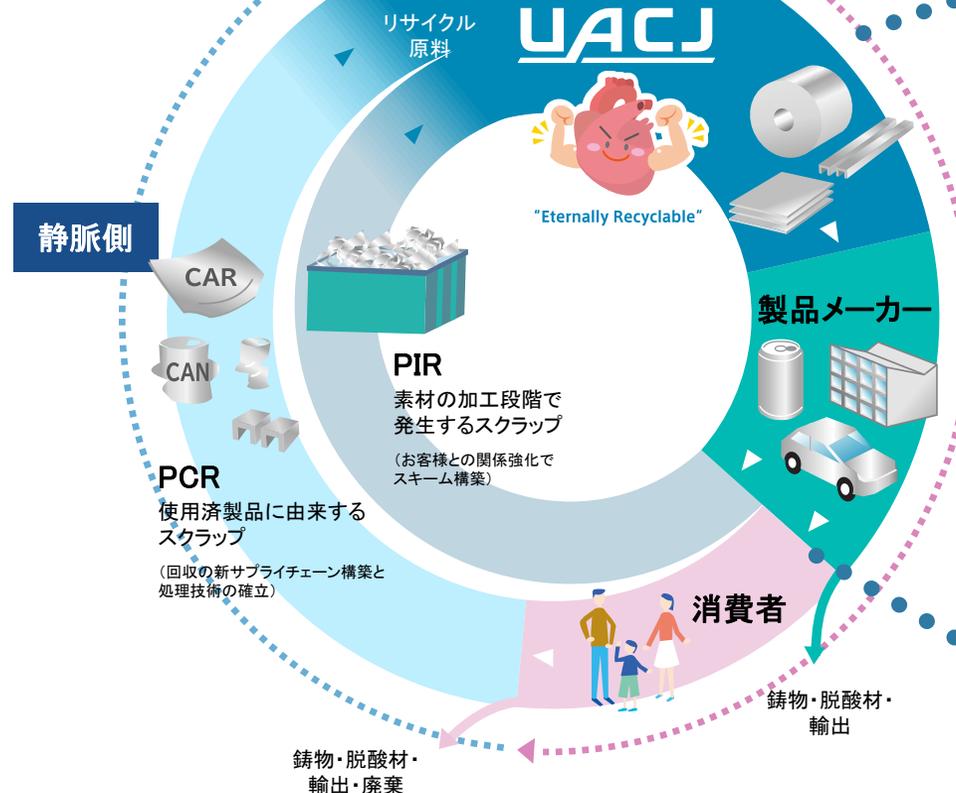
製品メーカー

消費者

鋳物・脱酸材・輸出

鋳物・脱酸材・輸出・廃棄

リサイクルアルミ  
市場拡大



# 飲料用アルミ缶の循環向上(リサイクル)に向けたグローバルな取り組み

## 日本



**UACJ 福井製造所**  
**山一金属様とのJVによる**  
**UBC※1処理ライン新設**  
2025年度4Qより稼働開始  
〈UBCのリサイクル原料への加工設備〉

## 北米

**TAA Logan工場**  
**UBC処理ラインの増設**  
(2025年度4Qより稼働開始)  
〈UBCのシュレッダー処理ラインを増設〉

## タイ



**UATH ラヨン製造所**  
**UBC溶解炉増設**  
2024年度1Qより稼働中  
〈UBCを溶解するサイドウェル式溶解炉の  
第4ライン〉



※1 UBC: Used beverage can(使用済み飲料缶).

# UACJがアルミ缶リサイクルに取り組む意義

## アルミ缶を取り巻く 市場環境の変化

- ✓ 環境意識の高まり
  - ✓ 人口増、経済成長
- ⇒ますます需要は拡大

**UACJ**

にとっての缶材

- ✓ 主力製品＝**収益の源泉**
- ✓ **3極連携による確実な需要の捕捉**
- ✓ 日本の生産量の半分以上を担う**責任**

販売総量133万トンのうち、

**69%**が缶材

(25年度見通し)

**UACJ**

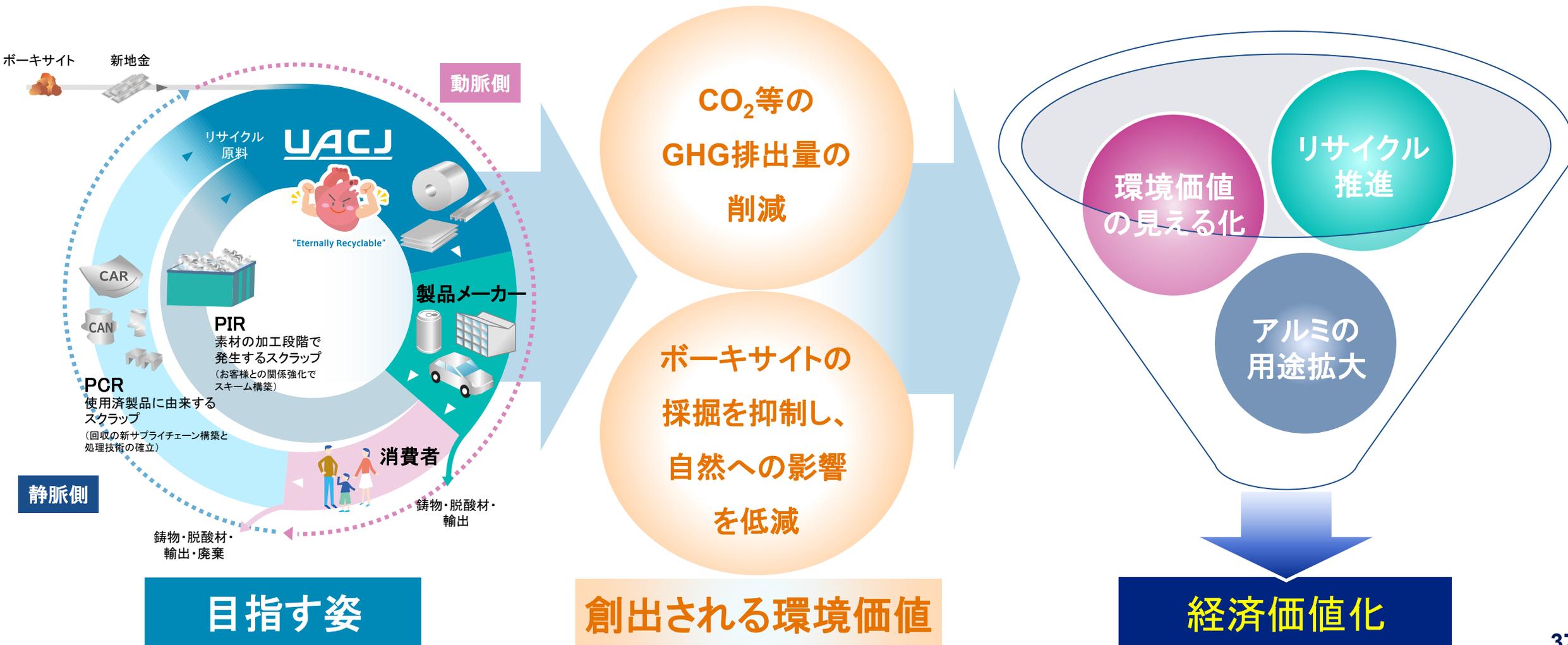
## “リサイクル”への取り組みを成長機会ととらえ、事業活動を展開

- ✓ リサイクルしやすい素材の新規開発
- ✓ リサイクル関連設備等の立ち上げ
- ✓ お客様と協働し使用済みアルミ材の回収スキームを構築
- ✓ 新たな製品ブランドの構築



# UACJの目指す姿

UACJだからこそできるアルミニウムのリサイクルを推進し、  
創出される**環境価値を経済価値に**



3-4.

## 航空宇宙・防衛関連への素材提供



*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界

# 航空宇宙・防衛分野の需要動向

## 航空分野



- 旅客需要の伸び
- 老朽化した旧型機の更新
- GHGの排出削減など環境対策の必要性



**新型機への置き換え需要**

## 宇宙分野



© JAXA

- 自動運転などの位置測定
- 温暖化対策・農業用途の環境測定
- 衛星軌道からのデータ通信用途



**人工衛星のニーズが増加し、ロケットの打ち上げ数が増加**

## 防衛分野

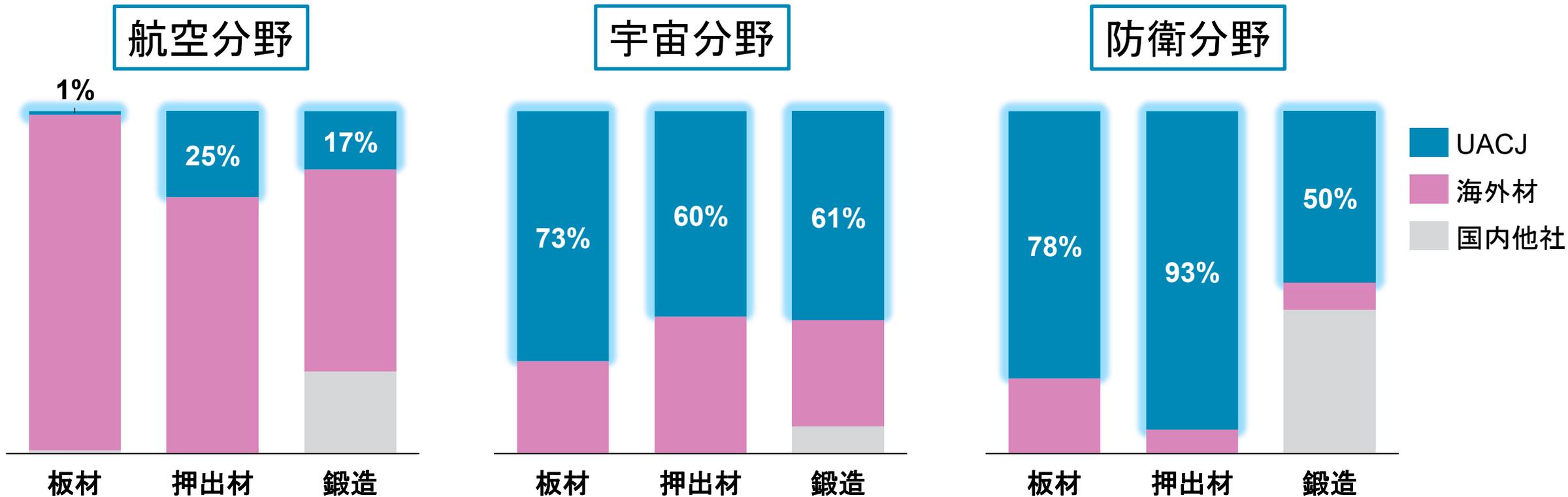


- 社会情勢の変化に伴い、日本の防衛関連費の増加



**防衛分野での需要が増加**

# 当社のマーケットシェア（国内） <<国内プライムメーカー様でのシェア>>



※当社調べ

海外材をUACJ材に切り替え  
⇒ アルミニウム素材の国内供給へ

国内プライムメーカー様でのシェア増加  
国内サプライチェーン安定化へ貢献

# 航空宇宙・防衛材事業 ～「+α」で、さらなる飛躍～

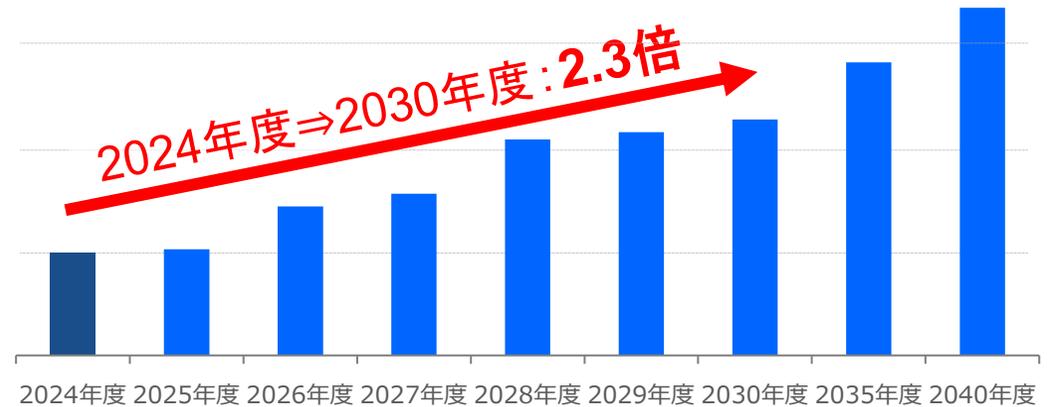
## UACJの強み

- ✓ 国内最大級の大型生産設備を使用した大型素材の生産力
  - ✓ お客様のニーズに確実に応えることのできるアルミ合金の開発力
- ⇒国内サプライチェーンの強靱化へ寄与



## 航空・宇宙・防衛3分野の売上計画

(2024年度実績を100とする)



# 戦略投資 : 先端分野のサプライチェーン安定化への貢献のために

## 合計230億円の設備投資により、拡大する市場を捕捉

### 厚板焼入れ材製造設備を増強 (2025年5月13日リリース\*1)



深谷製造所全景

投資総額 : 約110億円  
稼働開始 : 2027年度下期  
設置場所 : 深谷製造所(埼玉県深谷市)  
需要分野 : 航空宇宙・防衛関連材、半導体製造装置など

- ✓ **日本最大規模・高効率**な設備で、より高品質な製品分野へ
- ✓ 厚板焼入れ材生産能力を倍増へ

\*1 ご参照-1) [日本最大規模の厚板焼入れ材製造設備を導入\(2025年5月13日\)](#)

\*2 ご参照-2) [航空宇宙・防衛向け生産能力を増強、国内最大級リング材製造設備を導入\(2026年2月10日\)](#)

\*3 宇宙戦略基金 URL: <https://fund.jaxa.jp/>

### 国内最大 リング材製造設備を導入 (2026年2月10日リリース\*2)



© 宇宙航空研究開発機構(JAXA)



現在製造しているリング材

投資総額 : 約120億円  
稼働開始 : 2029年中  
設置場所 : 鋳鍛製作所(栃木県小山市)  
需要分野 : H3ロケットなど宇宙関連材

- ✓ JAXAの技術開発テーマに採択され、**宇宙戦略基金\*3の補助**を受けて実施
- ✓ 製造可能なリング材の直径は、**5m以上へ拡大(国内最大)**

# 4. 業績と株主還元



*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界

4-1.

# 第4次中期経営計画の財務目標と、 今期の業績見通し



*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界

# 第4次中期経営計画 財務目標

27年度で 事業利益600億円、ROE 9%、ROIC 9%以上達成を目指す

売上高

10,500 億円

事業利益

600 億円

Adjusted EBITDA<sup>\*1</sup>

1,000 億円

ROE

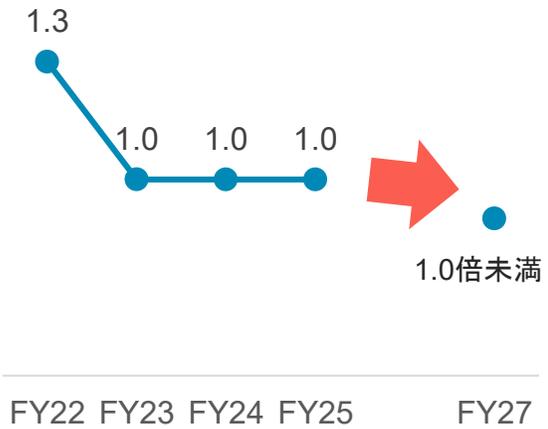
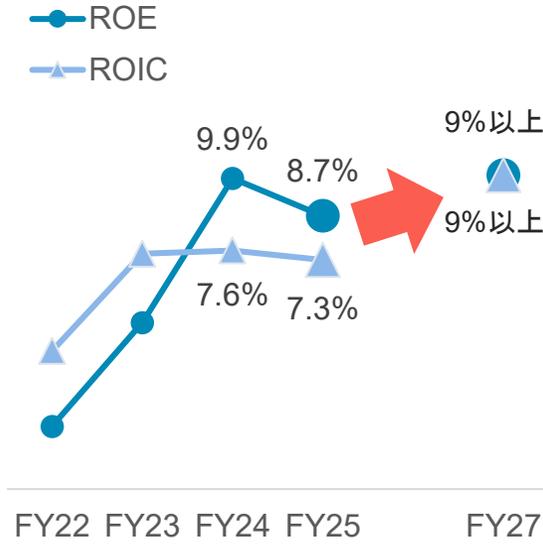
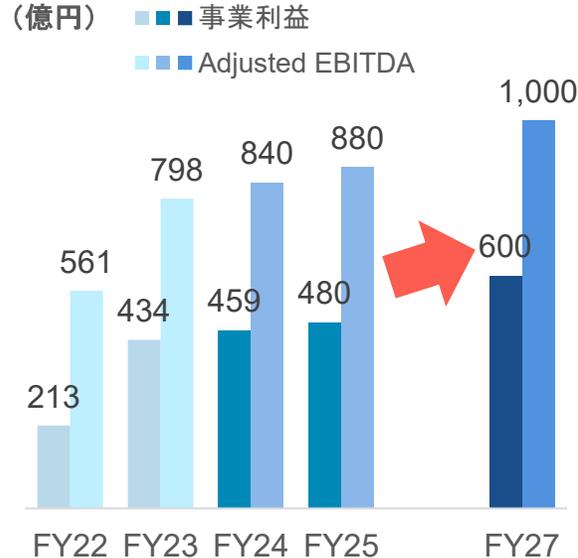
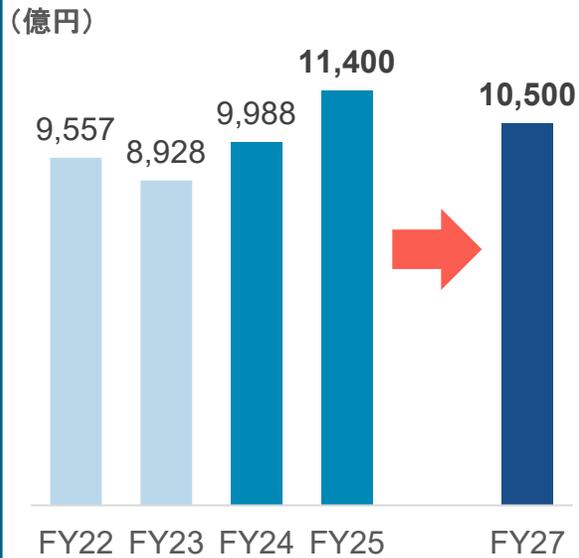
9%以上

ROIC<sup>\*2</sup>

9%以上

D/Eレシオ<sup>\*3</sup>

1.0 倍未満



\*1 Adjusted EBITDA : EBITDA - 棚卸資産影響等

\*2 ROIC : 税引前事業利益を基に算出

\*3 D/Eレシオは劣後ローンの資本性を考慮

【FY24実績条件】 LME : 2,526 \$/ton、為替 : 143 円/\$

【FY25前提条件】 LME : 2,666 \$/ton、為替 : 148 円/\$

【FY27前提条件】 LME : 2,200 \$/ton、為替 : 140 円/\$

# 2025年度 業績予想 (2026年2月12日公表)

## 『稼ぐ力』を示す事業利益は、2027年度 600億円達成に向け計画通り進捗

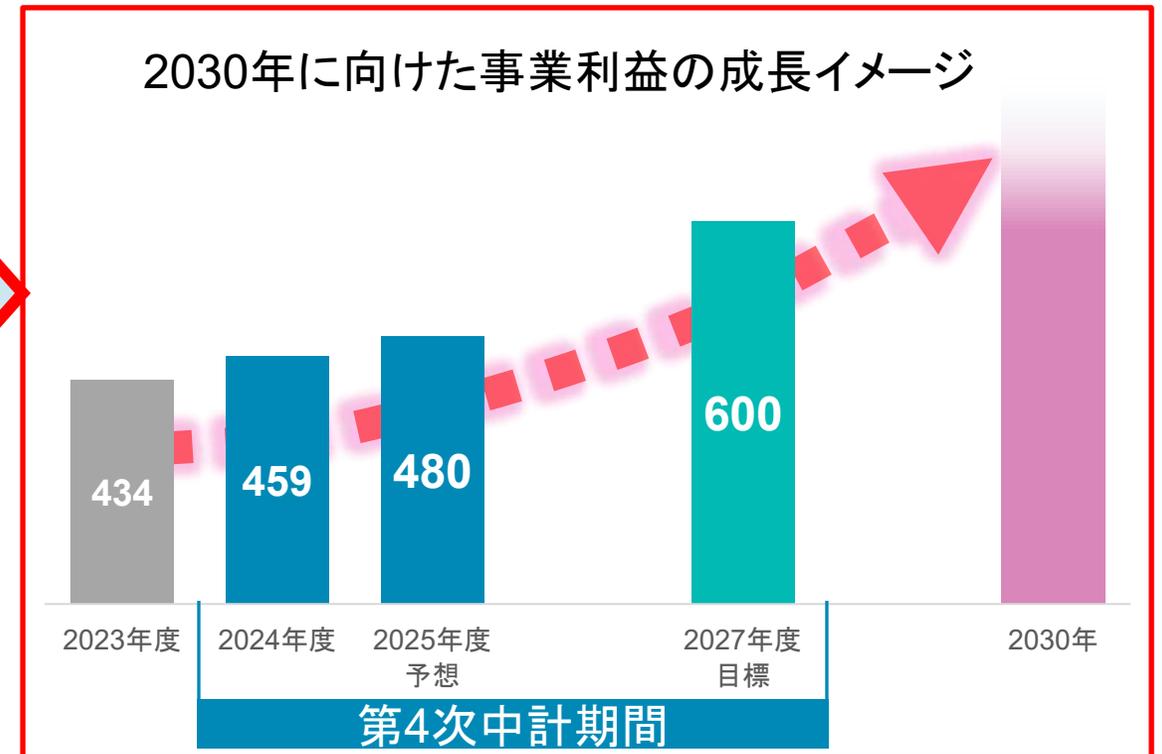
### 2025年度業績予想のポイント

- ✓ 缶材需要はグローバルで順調に伸長
- ✓ 日本国内は価格改定効果が顕現
- ✓ 海外子会社の調達ノウハウによる収益改善

### 第4次中計達成とその先に向けて

- ✓ 環境価値の経済価値化を成長ドライバーに
- ✓ 缶材を中心にグローバルで伸長する需要を捕捉
- ✓ 投資効果顕現による、航空宇宙・防衛材分野の利益貢献

業績予想 (億円)	2025年5月見込み	2026年2月見込み
売上収益	10,400	<b>11,400</b>
<b>事業利益*</b>	460	<b>480</b>
営業利益	450	<b>660</b>
親会社の所有者に帰属する <b>当期利益</b>	200	<b>270</b>
前提条件		
地金 (LME) (\$/t)	2,500	2,748
為替レート (円/\$)	145	150
ドバイ原油 (\$/bbl)	80	66



# 4-2. 株主還元



*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界

# 株式分割の実施 (2025年10月実施)

目的: 投資単位金額の引き下げにより、投資しやすい環境へ



● 個人株主比率増加

✓ 9月末から12月末時点で**4%増加**

● 流動性の向上

✓ 日当たり出来高 **40%増加**

分割前6ヶ月間: 55万株/日※⇒分割後 約6ヶ月間: 85万株/日

※出来高は1株を4株に分割(2025年10月1日実施)を考慮後

概要: 実施日 **2025年10月1日** (実施済み)

分割比率

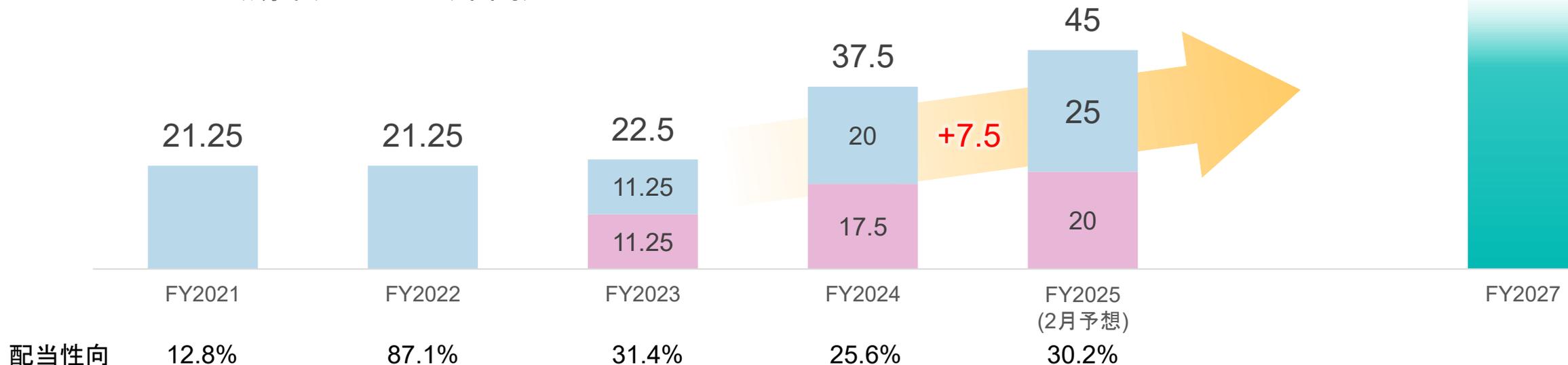
株式分割前	株式分割後
1株	<u>4株</u>
株価: 6,328円/株	株価: 1,582円/株

# 配当について

好調な業績を反映し、年間配当金見通しを45円に(2024年度から+7.5円増配見通し)

還元方針 : 最終利益\*の30%以上を配当性向の目途とし、安定的かつ継続的な配当を目指す

■ 配当(期末) ■ 配当(中間)



## 配当性向

第3次中期経営計画期間  
(FY2021~FY2023)

方針: 20%~30%  
(3カ年平均実績 24.8%)

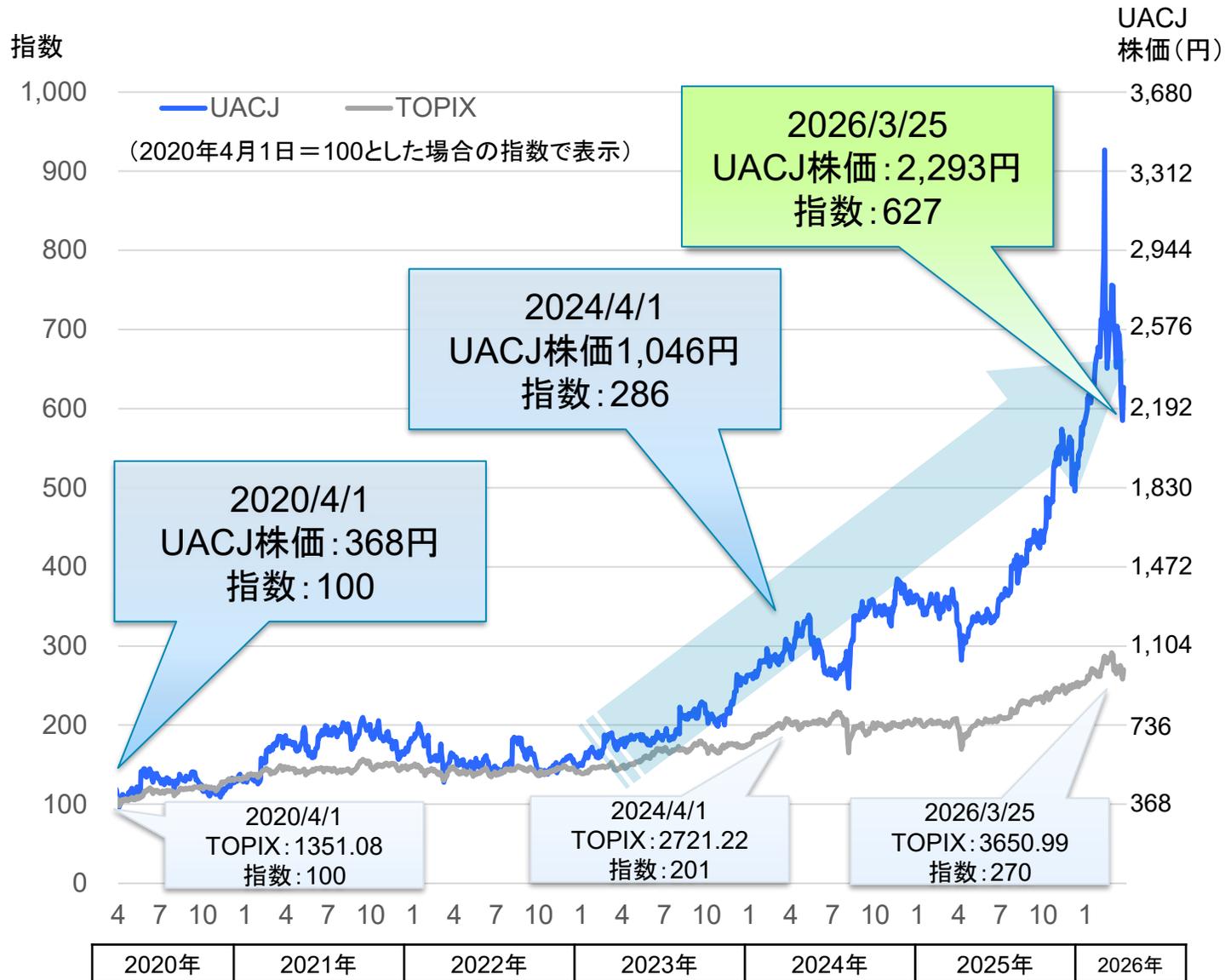


引き上げ

第4次中期経営計画期間  
(FY2024~FY2027)

30%以上

# 株価のTOPIXとの比較(2020年4月～2026年3月25日)



**2,293円** (2026年3月25日)

- ✓ 業績の拡大に伴い、株価も成長
- ✓ TOPIXと比較しても伸び率は大きい  
2020年4月1日を100としたとき2026年3月25日時点でUACJ: 627、TOPIX: 270

**368円\*** (2020年4月1日)

※2020年4月1日の株価は1株を4株に分割(2025年10月1日実施)を考慮後

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

## エクイティ・スプレッドの創出に向け、資本コストの低減とROE向上に注力

### 株式価値最大化に向けて (第4次中計にて公表)

#### ROEの改善 (目標9%以上)

- 事業利益目標 : 600億円
- ROIC目標 : 9%以上
- 価値創造プロセス
- 事業戦略
- 成長シナリオ

#### 資本コスト低減 (目標7%台) 期待成長率の引き上げ

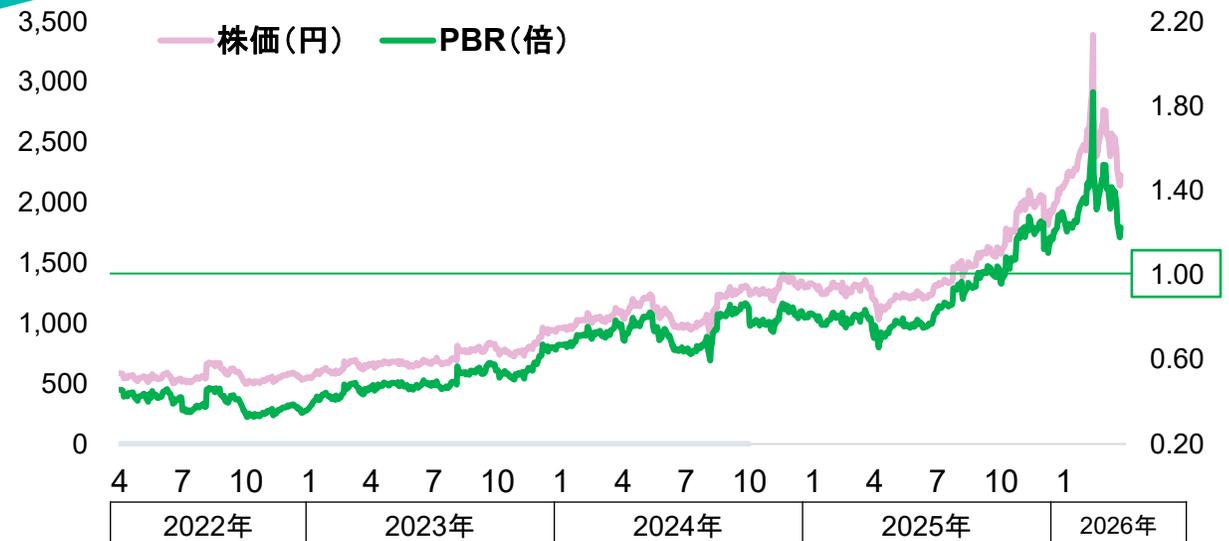
- 最適資本構成の実現  
⇒ 格付A格の確保
- 配当性向30%以上
- サステナブルな事業戦略の策定
- 非財務分野での価値創出
- 情報開示、エンゲージメント強化

#### エクイティ・スプレッド

1%以上に拡大

**PBR\* 1.26倍**  
株式価値最大化

#### 株価・PBRの推移



UACJは、素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する企業です。

世界有数の生産力と強固な顧客基盤、ニーズに応える技術力で、

社会課題の解決と企業価値の向上を両立しています。

アルミとあしたへ





*Aluminum lightens the world*

アルミでかなえる、軽やかな世界

## 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があり、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。

また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

## 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料並びにIR関係のお問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。  
株式会社UACJ 財務本部 IR部

